

PAT-NO: JP361133339A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 61133339 A

TITLE: PLATINUM ALLOY FOR ORNAMENT

PUBN-DATE: June 20, 1986

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

TAKIGUCHI, FUJIMATSU

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

TANAKA KIKINZOKU KOGYO KK

N/A

APPL-NO: JP59255974

APPL-DATE: December 4, 1984

INT-CL (IPC): C22C005/04

US-CL-CURRENT: 420/466

ABSTRACT:

PURPOSE: To improve the workability, mechanical strength, and castability of the alloy for ornaments, by incorporating specific amounts of Cr and Mn to Pt.

CONSTITUTION: The Pt alloy for ornaments consists of, by weight, 84~96% Pt, 1~10% Cr, and 1~15% Mn. In this alloy composition, Cr does not react with a mold at casting and satisfies the requirements for the control of concentration of oxygen at casting; Mn combines with Pt to form an intermetallic compound, which is hardened to improve mechanical strength. This Pt alloy excels in reproducibility of casting and can be used for rings, necklaces, brooches, tiepins, watches, and the like.

COPYRIGHT: (C)1986,JPO&Japio

DERWENT-ACC-NO: 1986-201067

DERWENT-WEEK: 198631

COPYRIGHT 1999 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Ornamental platinum alloy - contg. chromium and
manganese

PATENT-ASSIGNEE: TANAKA KIKINZOKU KOGYO KK[TANI]

PRIORITY-DATA: 1984JP-0255974 (December 4, 1984)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PUB-DATE	LANGUAGE	PAGES	MAIN-IPC
JP 61133339 A	June 20, 1986	N/A	002	N/A
JP 93014016 B	February 24, 1993	N/A	002	C22C 005/04

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DESCRIPTOR	APPL-NO	APPL-DATE
JP 61133339A	N/A	1984JP-0255974	December 4, 1984
JP 93014016B	N/A	1984JP-0255974	December 4, 1984
JP 93014016B	Based on	JP 61133339	N/A

INT-CL (IPC): C22C005/04

ABSTRACTED-PUB-NO: JP 61133339A

BASIC-ABSTRACT:

Pt alloy comprises by wt. 84-96% Pt, 1-10% Cr and 1-15% Mn.

USE/ADVANTAGE - Used for rings, necklaces, brooches, tie-pins, cuff-links, watch frames, watch bands, lighters, writing tools, glass frames, and earrings. Alloy has good formability, mechanical strength and castability, and can be substituted for conventional ornamental Pt alloy. Addition of Cr prevents reaction with the mould, and improves mechanical strength and castability. Mn improves mechanical strength by forming intermetallic cpds. with Pt.

CHOSEN-DRAWING: Dwg.0/0

TITLE-TERMS: ORNAMENT PLATINUM ALLOY CONTAIN CHROMIUM MANGANESE

DERWENT-CLASS: M26

CPI-CODES: M26-B01; M26-B01C; M26-B01M;

SECONDARY-ACC-NO:

⑫ 公開特許公報(A)

昭61-133339

⑪ Int. Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

⑬ 公開 昭和61年(1986)6月20日

C 22 C 5/04

7730-4K

審査請求 未請求 発明の数 1 (全2頁)

⑭ 発明の名称 装飾品用白金合金

⑯ 特 願 昭59-255974

⑰ 出 願 昭59(1984)12月4日

⑱ 発 明 者 滝 口 藤 松 東京都中央区日本橋茅場町2丁目6番6号 田中貴金属工業株式会社内

⑲ 出 願 人 田中貴金属工業株式会社 東京都中央区日本橋茅場町2丁目6番6号

明 細 書

1. 発明の名称

装飾品用白金合金

2. 特許請求の範囲

白金84～96重量％、クロム1～10重量％、マンガン1～15重量％より成る装飾品用白金合金。

3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本発明は、指輪、ネックレス、ブローチ、ネクタイピン、カフスボタン、時計枠、時計バンド、ライター、筆記用具、眼鏡枠、イヤリング等の材料として使用する白金合金の改良に関するものである。

(従来技術とその問題点)

従来、上述の如き装飾品の材料としては白金-パラジウム(5～15重量％)合金が多用され、その他白金-パラジウム-銅合金が使用されている。然し乍ら前者の白金-パラジウム(5～15重量％)合金は加工性、铸造性に優れているが、機械的強さ特に硬さが低い為研磨中にすり傷、押傷が付き

易く且つ光沢が出にくく、また完成品として使用している場合も傷が付き易く、また宝石付指輪の場合、宝石を止めている部分がゆるんで宝石が脱落するという欠点があった。

また後者の白金-パラジウム-銅合金は、前記白金-パラジウム合金と同様加工性に優れ、その上機械的強さにも優れているが、铸造時に铸型と反応する為、細かい模様が現われず、不鮮明になり、しかも酸素濃度を抑制できないため錆果が生じるという欠点があった。

(発明の目的)

本発明は上記欠点を解消せんが為になされたものであり、加工性は勿論のこと機械的強さ、铸造性に優れた装飾品用白金合金を提供せんとするものである。

(発明の構成)

本発明による装飾品用白金合金は、白金84～96重量％、クロム1～10重量％、マンガン1～15重量％より成るものである。

本発明による装飾品用白金合金に於いて、クロ

ムを添加した理由は、鑄造時に鑄型と反応しないこと及び鑄造時に酸素濃度を抑制できることの条件を満たし、機械的強さ及び鑄造性を向上させる為であり、その添加量を1～10重量%としたのは1重量%未満では機械的強さ及び鑄造性の向上が低く、10重量%を超えると加工性が著しく低下するからである。

またマンガンは白金と金属間化合物を作り、硬化して一層機械的強さを向上させる為であり、その添加量が1重量%未満では機械的強さの改善が殆んどなく、15重量%を超えると加工性が悪くなるからである。

以下本発明による装飾品用白金合金の効果を明瞭ならしめる為に実施例及び従来例について述べる。

(実施例及び従来例)

下表の左欄に示す成分組成の実施例1～4の装飾品用白金合金と従来例1、2の装飾品用白金合金の硬さ、鑄型の細かい模様の再現度、及び、巣の発生度合いについて、夫々焼なまし後に測定したところ、下表の右欄に示すような結果を得た。

		成分組成(重量%)					焼なまし後の硬さ(Hv)	鑄型の細かい模様の再現度合	巣の発生度合
		Pt	Pd	Cu	Cr	Mn			
実施例	1	85			8	7	320	◎	低
	2	90			7	3	280	◎	低
	3	90			4	6	250	◎	低
	4	90			3	7	210	◎	低
従来例	1	90	10				75	○	普通
	2	85	7.5	7.5			140	○	低

上記表で明らかなように本発明による装飾品用白金合金は、従来の装飾品用白金合金に比し焼なまし後の硬さが優れ、鑄造した際の鑄型の細かい模様の再現度合も極めて優れていることが判る。

(発明の効果)

以上詳記した通り本発明の装飾品用白金合金は、加工性、機械的強さ、鑄造性が極めて優れているので、従来の装飾品用白金合金にとって代わることのできる画期的なものと言える。

出願人 田中貴金属工業株式会社